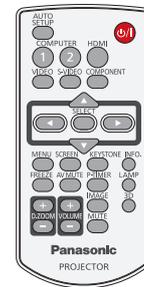
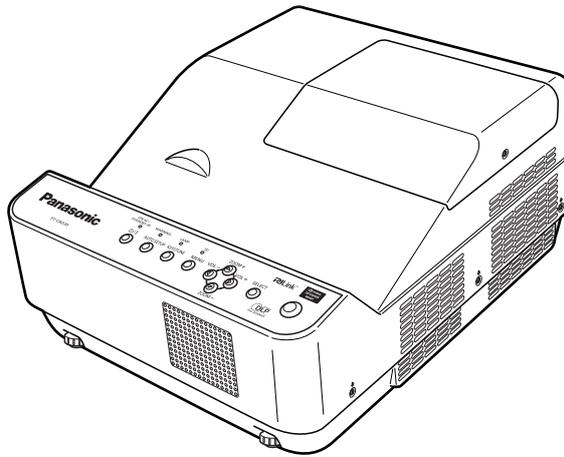


Panasonic®

取扱説明書 ネットワーク操作編

DLP™ プロジェクター 業務用

品番 **PT-CW230**
PT-CX200



- 本マニュアルは、プロジェクターのネットワーク操作についての説明です。
ネットワーク操作以外の使い方、点検と部品交換などについては『取扱説明書 - 本体操作編』をご覧ください。

JAPANESE

SO-MB2CC

内容

セキュリティに関するお願い	3
こんなことができます	3
ご使用のコンピューターをご確認ください	4
接続に必要なコンピューター環境	4
「ネットワーク」メニューについて	5
「ネットワーク」メニューの表示	5
LANモード選択	6
ネットワーク設定	7
ネットワーク暗証番号	8
ネットワーク情報	8
ネットワーク初期設定	9
有線LANで接続する	9
コンピューターの操作	9
WEBブラウザで操作する	10
WEBブラウザからのアクセス方法	10
PJLinkプロトコルを使用する	21
対応コマンド	21
PJLinkセキュリティー認証	21
LAN経由の制御コマンドについて	22
Telnet の使用	22
用語解説	24
商標について	24

注意

本文書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。

本文書内の表現について

本文書内で参照するページを (👁️ ○○ページ)、別冊『取扱説明書 - 本体操作編』で参照するページを (👁️ 本体操作編 [○○]項目) で示しています。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける可能性が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意がある第三者による本製品の不正操作
- 悪意がある第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても答えないでください。
- ファイアウォールなどで安全性の確保されたネットワークでご使用ください。

こんなことができます

<WEB制御> (👁️ 10 ページ)

WEBブラウザを使用してコンピューターから以下のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- Eメールメッセージの送信設定

<PJLink> (👁️ 21 ページ)

本機はPJLinkクラス1に対応しており、PJLinkプロトコルを使用してコンピューターから以下のような操作ができます。

- プロジェクターの設定
- プロジェクターの状態問い合わせ

<コマンドコントロール> (👁️ 本体操作編の『付録』にある『シリアル端子について』をご参照ください。)

シリアル端子の制御コマンドを使用して、コンピューターからプロジェクターの操作ができます。

ご使用のコンピューターをご確認ください

接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに有線LAN* 機能が装備されているかどうかをご確認ください。
*『用語解説』(🔍 24ページ)
- プロジェクターとコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

■ 有線LAN

チェック1 LAN ケーブルについて

- ケーブルが正しく接続されていますか。
- LANケーブルは、シールドケーブルでカテゴリ5以上に対応するものを使用してください。

チェック2 有線 LAN の設定

<有線LAN機能が内蔵されているコンピューター>

- 有線LANが有効になっていますか。

<有線LAN機能が内蔵されていないコンピューター>

- 有線LANアダプターが正しく認識されていますか。
- 有線LANアダプターが有効になっていますか。
- 事前に有線LANアダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック3 WEB ブラウザについて

- WEB制御を行うにはWEBブラウザが必要です。
- 対応OS： Windows XP/Windows Vista/Windows 7, Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7
- 対応ブラウザ： Internet Explorer 7.0/8.0/9.0, Safari 4.0/5.0 (Mac OS)

注意

静電気を帯びた手(体)でLAN端子に触れると、静電気の放電による故障の原因になります。
LAN端子およびLANケーブルの金属部に触れないようにしてください。

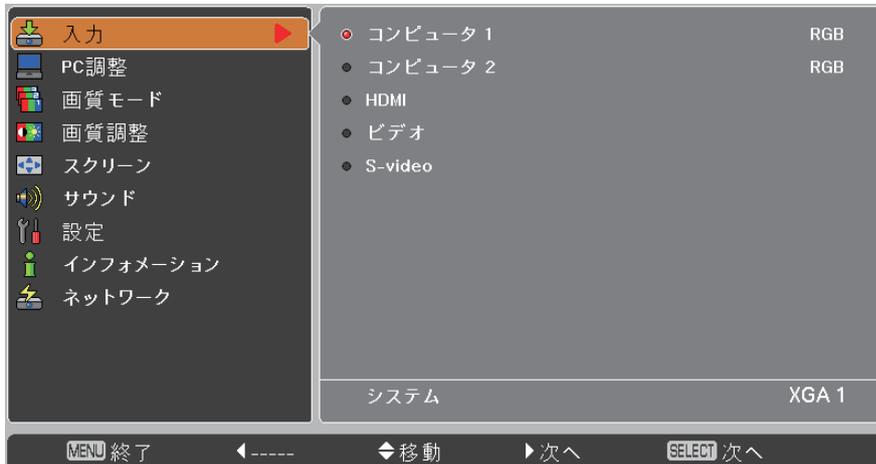
「ネットワーク」メニューについて

お買い上げ時の設定を変更してプロジェクターとコンピューターを接続する場合、次の手順でメニューを表示し、設定を変更してください。

「ネットワーク」メニューの表示

1 プロジェクターの〈MENU〉ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼ ボタンで [ネットワーク] を選ぶ

ネットワークメニューが表示されます。



3 〈SELECT〉ボタンを押す

サブメニューの項目を選ぶことができます。

注意

メニュー画面に表示される項目のうち、本機が使用できない状態のときはその項目が灰色文字で表示され、選択することができません。

「ネットワーク」メニューについて(つづき)

LANモード選択

LANのネットワーク設定は、プロジェクターのネットワークメニューで行います。

- 1 ▲▼ ボタンで [LANモード選択] を選択し、〈SELECT〉ボタンまたは ▶ ボタンを押す



- 2 LAN 環境に応じて、LAN1、LAN2、LAN3 の中から ▲▼ ボタンで選択し、〈SELECT〉ボタンを押す

「ネットワーク」メニューについて(つづき)

ネットワーク設定

有線LANの詳細なネットワーク設定ができます。

- ▲▼ ボタンで [ネットワーク設定] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
詳細に渡る [ネットワーク設定] 画面が、表示されます。



- ▲▼ ボタンで 各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

DHCP * (DHCPクライアント機能)	オン: プロジェクターを接続するネットワークにDHCPサーバーが存在する場合、自動的にIPアドレスを取得します。 オフ: プロジェクターが接続するネットワークにDHCPサーバーが存在しない場合、[IPアドレス *]、[サブネットマスク *]、[デフォルトゲートウェイ *] の設定を行ってください。
IPアドレス * (IPアドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク* (サブネットマスクの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、サブネットマスクを入力します。
Gateway* (デフォルトゲートウェイアドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
DNS (優先DNSサーバーアドレスの表示と設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、優先DNSサーバーアドレスを入力します。

*『用語解説』(📖 24 ページ)

- ▲▼◀▶ ボタンで [セット] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
現在のネットワーク設定を保存します。

注意

DHCP サーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 有線LANの工場出荷設定

工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

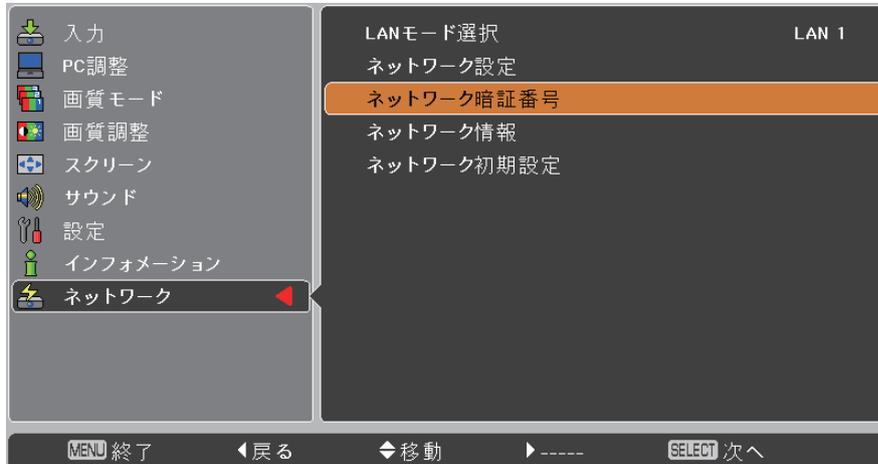
設定項目	選択LAN		
	LAN 1	LAN 2	LAN 3
DHCP	オフ	オン	オフ
IP ADDRESS (IP アドレス)	169.254.100.100	192.168.100.100	192.168.100.100
SUBNET MASK (サブネットマスク)	255.255.0.0	255.255.255.0	255.255.255.0
GATEWAY (デフォルトゲートウェイ)	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255
DNS	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255

「ネットワーク」メニューについて(つづき)

ネットワーク暗証番号

ネットワークからプロジェクターへのアクセスを制限する暗証番号です。

1 ▲▼ ボタンで [ネットワーク暗証番号] を選択し、〈SELECT〉 ボタンを押す



2 入力画面が表示されたら、▲▼ ボタンで数値を入力し、◀▶ ボタンで次のけたに移動し、4桁入力する [セット] を選択し、〈SELECT〉 ボタンで決定する

あらかじめ設定されている [ネットワーク暗証番号] をキャンセルするには、[キャンセル] を選択します。

ネットワーク情報

使用中のプロジェクターのLAN設定環境を表示します。

1 ▲▼ ボタンで [ネットワーク情報] を選択する



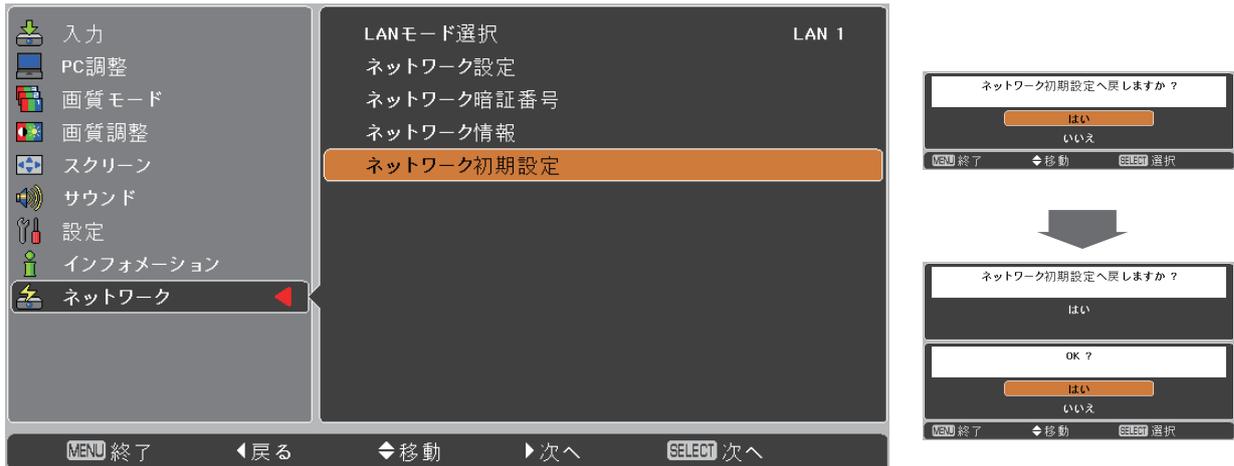
2 〈SELECT〉 ボタンまたは ▶ ボタンを押し、プロジェクターの情報を表示する

「ネットワーク」メニューについて(つづき)

ネットワーク初期設定

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

- 1 ▲▼ ボタンで [ネットワーク初期設定] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
- 2 確認画面が表示されたら、[はい] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す
次の確認画面が表示されたら、[はい] を選択し、〈SELECT〉ボタンを押す



有線LANで接続する

コンピューターの操作

有線LANでの接続ができます。ただし、ネットワークの設定はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

- 1 コンピューターの電源をオンにする
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う
プロジェクターの設定が工場出荷の状態 (👁️ 7 ページ) であれば、コンピューター側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

DHCP	オフ
IPアドレス	169.254.100.101
サブネットマスク	255.255.0.0
デフォルトゲートウェイ	無し
DNS	無し

WEBブラウザで操作する

WEBブラウザからのアクセス方法

- 1 コンピューターのWEBブラウザを起動する
- 2 WEBブラウザのURL入力欄に本機で設定したIPアドレスを入力する
- 3 『ユーザー名』と『パスワード』を入力する
ユーザー名には、必ず「user」を入力します。



- 4 [OK] をクリックして、プロジェクターの[初期設定]ページを表示する

「初期設定」ページが表示されます。



注意

- WEB ブラウザを同時に複数立ち上げて設定や制御を行うのは避けてください。
- 最初にパスワードの変更を行ってください。
- 本機の設定ページには、WEBブラウザのJavascript機能を利用している項目があります。WEBブラウザがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールを行えない場合があります。

WEBブラウザで操作する (つづき)

■ 各項目の説明



- 1 [初期設定] ボタン
初期設定ページを表示します。
- 2 [電源&状態] ボタン
電源&状態ページを表示します。
- 3 [PC調整] ボタン
PC調整ページを表示します。
- 4 [制御] ボタン
制御ページを表示します。
- 5 [設定] ボタン
設定ページを表示します。
- 6 [E-mail設定] ボタン
Eメール設定ページを表示します。
- 7 [ネットワーク] ボタン
ネットワーク設定ページを表示します。
- 8 [インフォメーション] ボタン
インフォメーションページを表示します。

「初期設定」ページ

本製品をネットワークに接続したら、以下の基本項目を設定します。

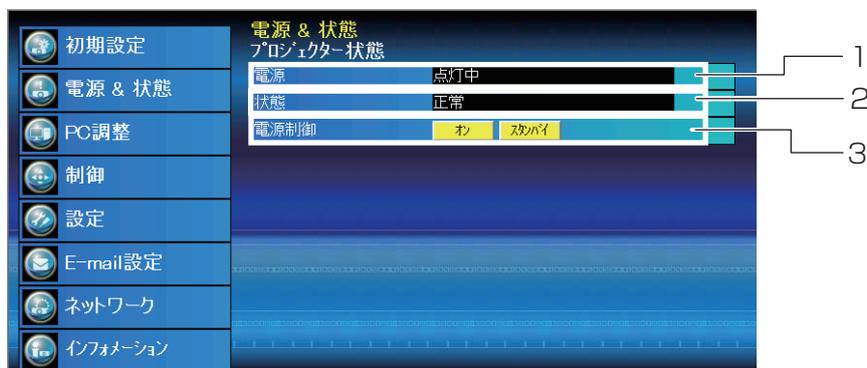


- 1 設定画面の表示言語を「日本語」または「英語」に切り換えます。
- 2 プロジェクターの型名を表示します。
- 3 プロジェクターの製造番号を表示します。
- 4 設定画面にログインするための暗証番号を設定します。
- 5 PJLink機能のパスワード認証を有効にするか無効にするかを切り換えます。
- 6 PJLink機能のパスワードを設定します。
- 7 ファームウェアのバージョンを表示します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「電源&状態」ページ

「電源制御」項目の [オン] または [スタンバイ] ボタンを押して、プロジェクターの電源を制御します。



- 1 プロジェクターの電源状態を表示します。
- 2 プロジェクターの状態を表示します。
- 3 [オン] または [スタンバイ] ボタンを押してプロジェクターの電源を制御します。

「PC調整」ページ

メインメニューの「PC調整」をクリックします。この画面では、プロジェクターに接続されたコンピューター信号を最適にスクリーン上に投写する調整を行います。

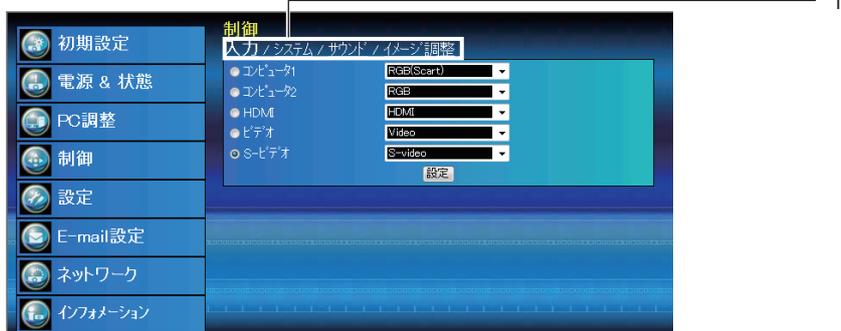


- 1 現在の入力信号のモードを表示します。
- 2 自動で最適なPC調整を行います。
- 3 画像のトラッキングを調整します。
- 4 水平期間の総ドット数を調整します。
- 5 画像のクランプ位相を調整します。
- 6 画像の水平および垂直位置を調整します。
- 7 PC調整値を元に戻します。
- 8 PC調整値を保存または消去します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「制御」ページ

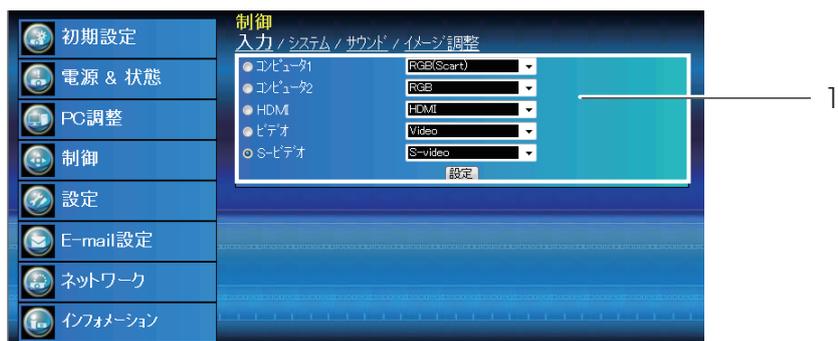
設定項目は複数のページに分かれて表示されていますので、サブメニューをクリックしてページを切り換えます。



1 選択ページのタブを表示します。

■ 入力

プロジェクターの入力モードと信号を選択する機能です。



1 プロジェクターの入力モードまたは入力信号を選択します。

■ システム



1 入力信号のシステムを表示します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「制御」ページ (続き)

■ サウンド

プロジェクターの音声の調整を行います。



- 1 音量を調整します。
- 2 音声出力を一時的に消します。

■ イメージ調整

プロジェクターのイメージ調整と保存を行います。



- 1 コントラストを調整します。
- 2 明るさを調整します。
- 3 色の濃さを調整します。
- 4 色合いを調整します。
- 5 色温度を選択します。
- 6 ホワイトバランスを調整します。
- 7 画質を調整します。
- 8 暗部の明るさを調整します。
- 9 ノイズリダクションを切り換えます。
- 10 プログレッシブモードを切り換えます。
- 11 イメージ調整値を元に戻します。
- 12 画質調整レベルを保存します。
- 13 保存されているイメージ設定値を呼び出します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「設定」ページ

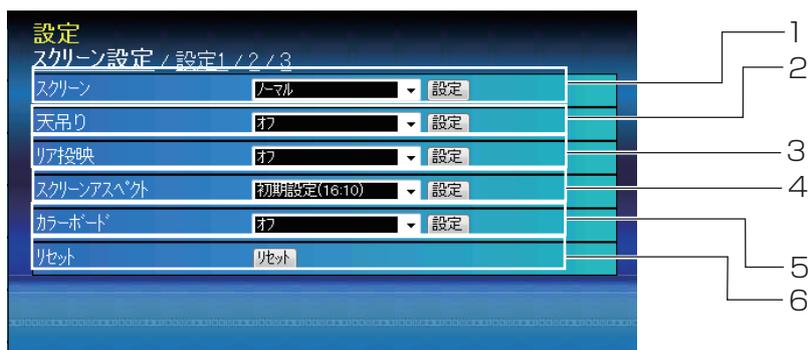
設定項目は複数のページに分かれて表示されていますので、サブメニューをクリックしてページを切り換えます。



- 1 選択ページのタブを表示します。

■ スクリーン設定

プロジェクターの画面モードを調整する機能です。



- 1 スクリーンのモードを選択します。
- 2 画像の上下左右を反転して映します
- 3 画像の左右を反転して映します
- 4 スクリーンのアスペクト比を設定します。
- 5 色付きの壁や黒板に映す場合に、白いスクリーンに映したときに近い色味にします。
- 6 スクリーン設定を工場出荷時の状態に戻します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「設定」ページ (続き)

■ 設定 1



- 1 プロジェクターのメニューの表示言語を選択します。
- 2 自動調整時の、入力信号の自動検出モードを設定します。
- 3 3D 処理を行います。
- 4 画像と音声を一時的に消します。
- 5 信号入力が無い時のスクリーンの背景を設定します。
- 6 画面表示をスクリーンに表示する、しないを設定します。
- 7 電源起動時のロゴに関する設定を行います。

■ 設定 2



- 1 「COMPUTER IN 2/MONITOR OUT」端子の設定を切り換えます。
- 2 入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が設定期間続いたときに働くパワーマネージメントの動作モードを設定します。
- 3 電源コードを接続するだけで画面を投写します。
- 4 ランプの明るさを選択します。
- 5 プロジェクターまたはリモコンからのキー操作を禁止します。
- 6 冷却ファンの回転速度を切り換えます。
- 7 ランプ使用時間を表示します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「設定」ページ (続き)

■ 設定 3



- 1 フィルターの使用時間を表示します。
- 2 設定した時間が経過すると、フィルターの掃除を促すアイコンが表示されます。
- 3 プロジェクターの各設定項目を工場出荷状態に戻します。
- 4 画像と音声を一時的に消します
- 5 画像を一時的に静止させます。
- 6 クロースドキャプションの表示方法を設定します。

注意

- 初期設定機能は、ロゴ暗証番号ロック、暗証番号ロック、ランプ調整値、フィルターカウンター、ランプ使用時間、およびプロジェクター使用時間を除く、プロジェクターの操作項目すべてを初期設定設定に戻します。

「E-mail設定」ページ

プロジェクターに異常が発生したときやランプの交換時期がきたときなどに、登録した配信先へE-mailで異常や警告を通知します。



- 1 SMTPサーバー名、または、IPアドレスを設定します。(半角英数60文字以内)
- 2 SMTPサーバーのポート番号を設定します。(1~65535)
- 3 管理者のメールアドレスを設定します。
- 4 プロジェクターに異常が発生した時の通知先のメールアドレスを設定します。
- 5 認証の方法を設定します。
- 6 SMTP認証の認証形式を設定します。
- 7 SMTPのユーザーIDを設定します。(半角英数63文字以内)
- 8 SMTPのパスワードを設定します。(半角英数63文字以内)
- 9 POPサーバー名、または、IPアドレスを設定します。
- 10 POPサーバーのポート番号を設定します。

WEBブラウザで操作する (つづき)

「E-mail設定」ページ (つづき)

■ メール送信エラーが発生した場合



1 SMTPサーバーが見つからないことを示すエラーメッセージです。

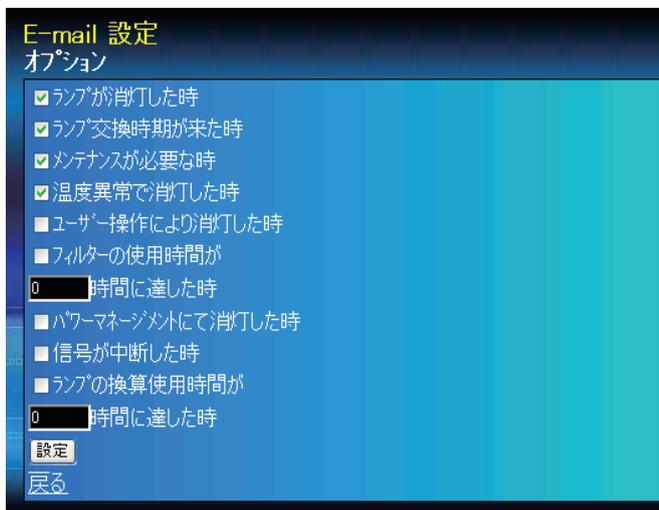
■ メール送信先の登録と削除

登録アドレスを確認または削除できます。



■ 警告メールを送信するオプションの選択

警告メールが送信される条件を確認できます。



WEBブラウザで操作する (つづき)

「E-mail設定」ページ (つづき)

■ 警告メールの種類と内容 [例]

プロジェクターに異常が発生すると、設定した条件に応じて、以下のような警告メールが送信先メールアドレスに送信されます。管理者はこのメールの内容によって必要な対応を素早くとることができ、プロジェクターの保守や補修に役に立ちます。

以下は受信するメールのメッセージ例です。

● 温度異常で消灯したとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: モデル名
TCP/IP: 192.168.10.100 プロジェクター名: PT-CW230

より、以下のメッセージが届きました。

* プロジェクターの内部温度が高くなり、消灯しました。
クーリング処理が終了する (スタンバイ状態へ移行する) まで待ってから、再点灯してください。
再度インジケータが点滅する場合は、エアフィルターが詰まっていないか確認してください。
センサー A が温度異常です

● メンテナンスが必要なとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: モデル名
TCP/IP: 192.168.10.100 プロジェクター名: PT-CW230

より、以下のメッセージが届きました。

* プロジェクターのメンテナンス要求を検出しました。
プロジェクターの LED 状態を確認頂き、販売店にご相談ください。

MCI 3.3V OK
MAIN ALL NG

注意

- プロジェクターのメンテナンス要求を検出しました。
- プロジェクターの電源プラグを抜き、再度電源プラグをACコンセントに挿して電源をオンにしても、同様に異常が発生する場合には、販売店に電源エラー情報を添えて修理をご依頼ください。

● ランプの交換時期がきたとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: モデル名
TCP/IP: 192.168.10.100 プロジェクター名: PT-CW230

より、以下のメッセージが届きました。

* ランプの交換時期が来ています。
ランプ 3000 時間

注意

- ランプの交換時期が来たことを、ランプの使用時間とともにお知らせします。速やかにランプを交換してください。ランプを交換しないままご使用になると、プロジェクターを起動するたびに警告メールが送信されます。なお、E-mail送信条件の「ランプ交換時期が来たとき」のチェックを外すと警告メールは送信されません。

WEBブラウザで操作する(つづき)

「ネットワーク」ページ

プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS、プロジェクター名の設定、変更を行います。



- 1 プロジェクターの「LANモード選択」で設定したLANモードが表示されます。
- 2 DHCP のオン・オフを設定します
- 3 プロジェクターのIPアドレスを設定します。
- 4 サブネットマスクを設定します。
- 5 デフォルトゲートウェイ(ルーター)のIPアドレスを設定します。
- 6 DNSサーバーのIPアドレスを設定します。メール機能を使用する場合は必ず設定します。
- 7 プロジェクターに名前を付けます。(半角英数64文字以内)

「インフォメーション」ページ

プロジェクターの基本的な情報を表示します。[更新]ボタンを押すと情報が更新されます。



- 1 選択されている入力モードと信号源を表示します。
- 2 入力信号のシステムを表示します。
- 3 入力信号の状態を表示します。
- 4 選択されているスクリーンモードを表示します。
- 5 ランプの状態をアイコンで表示します。
- 6 セキュリティ(暗証番号ロック)の状態を表示します。
- 7 プロジェクターの累計使用時間を表示します。
- 8 ランプの使用時間(相当値)を表示します。
- 9 フィルターの累計使用時間を表示します。
- 10 内蔵LANモジュールのMACアドレスを表示します。
- 11 現在設定されているIPアドレスを表示します。

PJLinkプロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink クラス1に対応しています。そのためPJLinkプロトコルを使用して、コンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態に関する問い合わせの操作ができます。

対応コマンド

PJLinkプロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 12 = RGB2 13 = RGB 3 21 = VIDEO 22 = VIDEO 2 23 = VIDEO 3 31 = DIGITAL 1
INPT?	入力切り換え問い合わせ	
AVMT	AVミュート制御	パラメーター 30 = AVミュートモード オフ 31 = AVミュートモード オン
AVMT?	AVミュート状態問い合わせ	
ERST?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1つ目の数字 (1 ~ 5桁) : ランプ積算時間 2つ目の数字 : 0 = ランプ 消灯, 1 = ランプ 点灯
INST?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します。 『11, 12, 13, 21, 22, 23, 31』
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	[プロジェクター名] の [ネットワーク設定] で設定した名称を応答します。
INF1?	メーカー名問い合わせ	『Panasonic』 と応答します。
INF2?	機種名問い合わせ	『CW230』または『CX200』として機種名を応答します。
INFO?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します。
CLSS?	クラス情報問い合わせ	『1』 と応答します

PJLinkセキュリティー認証

PJLinkを使用するパスワードは、WEB制御で設定したパスワードと同じです。(👁️ 10 ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB制御のパスワードをなしに設定してください。

PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

LAN経路の制御コマンドについて

Telnet の使用

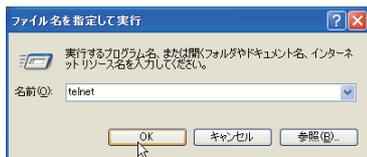
コンピュータのtelnet^{*1}機能を利用してプロジェクターを制御できます。telnetアプリケーションは、WindowsおよびMac OSでは標準で利用可能です。

* なお、プロジェクターの制御にはtelnet ポート10000番を使用します。

■ コントロールする

(Windows XP professionalのtelnet機能を使用する場合)

- 1) コンピュータの「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択します。表示されたウィンドウの「名前(O):」に「telnet」と入力し、「OK」をクリックします。



- 2) telnet アプリケーションが起動し、以下のウィンドウが表示されます。プロジェクターに接続するために、以下のようにタイプします。

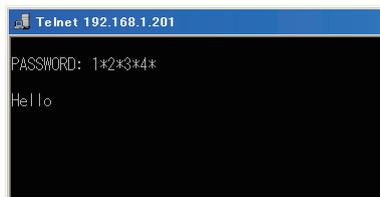
```
> open 192.168.1.201 10000 [改行]
```



* IPアドレスは、プロジェクターに設定されたアドレスを入力します。

- 3) 正常に通信が確立するとウィンドウに「PASSWORD:」が表示されますので、プロジェクターに設定したネットワーク暗証番号^{*2}を入力し、「Enter」キーを押します。 ネットワーク暗証番号を設定していない場合には、そのまま「Enter」キーを押します。ログインに成功すると、ウィンドウに「Hello」が表示されます。

* パスワード「1234」を入力した例



*1 telnet アプリケーションについての詳細な使用方法につきましては、コンピュータのオンラインガイドなどをご覧ください。

*2 PASSWORDはネットワーク暗証番号のことです。入力したパスワードの認証に4回連続して失敗すると接続が切断されます。接続を再度やり直してください。

LAN経由の制御コマンドについて(つづき)

Telnet の使用(続き)

- 4) プロジェクターをコントロールするコマンド(下表参照)をタイプし、「Enter」キーを押します。例えば、プロジェクターの電源を入れるコマンド「C00」を入力し、「Enter」キーを押します。プロジェクターが起動することを確認してください

* コマンドは大文字で入力します。

接続を切断するには、「Ctrl」キーを押しながら「]」キーを押した後、「close」を入力し、「Enter」キーを押します。

> close [改行]

コマンドリスト例

コマンド	機能
C00	電源オン
C02	電源オフ
C09	音量アップ
COA	音量ダウン
COB	ミュートオン
COC	ミュートオフ
C1C	メニュー表示
C1D	メニュー非表示

注意

- 30秒以上パスワードまたはコマンドの入力が無い場合は、自動的に接続が切断されます。続けて使用する場合には、接続を再度やり直してください。

用語解説

用語	説明	ページ
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。接続されている機器に、自動的にIPアドレスを割り振るプロトコルです。DHCPサーバー機能付きの機器がLANにある場合、接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。	7
IPアドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じIPアドレスを使用することはできません。	7
LAN	Local Area Network の略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。	4
サブネットマスク	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。その場合のIPアドレスを区切るための値のことを、サブネットマスクといいます。	7
Gateway	異なるネットワーク規格に用いるデバイス。ゲートウェイは通信プロトコルなど、双方で異なる部分を調節して、他のネットワークとの接続を可能にします。アクセス先のIPアドレスにゲートウェイが指定されていない場合に、ゲートウェイとして設定されたホストにデータが送信されます。	7

商標について

- Microsoft®とそのロゴ、Windows®、Windows®XP、Windows Vista®、Windows®7、Internet Explorer® は、米国Microsoft Corporation の、米国および/あるいはその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における出願商標です。
- この説明書に記載されているその他の企業名、製品名あるいは他の名称は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®や™マークは明記していません。

注意：

- 本製品のマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL：<http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話/FAXでお答えする場合は、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎0120-872-601